

## 式辞

この瀬戸内地域では、少雨の年が不規則にやってきて、我々を不安にさせます。この冬もそうです。しかし、ダムの貯水率が一気に回復するほどではありませんが、優しい雨の日も増え、確実に春の息吹が感じられるようになりました。

本日ここに、御来賓の皆様、御臨席と、保護者の皆様、第〇〇回〇〇卒業の同窓の方々の御列席を賜り、令和七年度愛媛県立松山北高等学校卒業証書授与式が、この体育館で挙行できますことは、大きな喜びです。学校を代表致しまして、厚く御礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました三百五十四名の皆さん、御卒業おめでとうございませう。

一昨年四月に私は赴任しましたので、北高で皆さんと共に過ごした時間は、二年間でしたが、北高の凄さをまざまざと見る事ができた時間になりました。

皆さんと接する中で、皆さんの美しい心に、ずっと救われてきました。北高には「文・武・心」という校訓があります。文武両道という言葉はよく聞きますが、そこに「心」が入っているのが、北高の凄いところです。朝8：50から4：30までしっかり勉強し、放課後それぞれの活動を短時間で集中して行う。そうやって培われた皆さんから醸し出される雰囲気いつも幸せを感じていました。心が鍛えられている人は、表情・雰囲気も自ずと美しくなるのです。

全国選手権大会ベスト16という、北高史上誰も見たことがなかったステージに連れて行ってくれたサッカー部、インターハイで、優勝者といセンチ差だった陸上競技男子走り幅跳、県総体で北高史上初の団体優勝を成し遂げたテニス部、長く語り継がれるであろう決勝戦での激闘を展開した卓球部、〇〇年振りに決勝に進出した女子バスケットボール部、地域の伝承文化に学ぶコンテスト〇〇年連続全国最優秀の愛媛グロークル郷土研究、全国大会常連の吟詠剣詩舞部、書道部、硬式野球オール早慶戦で慶応大学とコラボした吹奏楽部など、また、クラブチームでの活動や各自の習い事など、本当によく頑張りました。どうしても、その結果に注目しがちですが、どの分野でも実はうまくいかないことの方が多かったので

はないでしょうか。そんな時、やはり支えてくれるのは、自分の周りにいる人々です。古代最大の哲学者アリストテレスは「人間は社会的動物である」と言いました。社会の中で関わり合って生きていくのが人間であると。最後助けてくれるのは、人と人との繋がりです。皆さんは、北高での三年間で、いろいろな人との繋がりができたはずですよ。その繋がりがお宝ですよ。

もう一つ、サルトルという人の「実存は本質に先立つ」という言葉を皆さんに送ります。一人一人の真実の存在⇨実存が、本質⇨神よりも先ということですよ。つまり、一人一人の存在がとても大切という言葉ですよ。受験の戦いが続く人、安心してください。早くに合格する人が偉いのではないですよ。合格が一年後、二年後になる人もひよっとしたらいるかもしれないですよ。全く問題なしですよ。逆に、苦労した分、人として大きくなれます。あきらめないで。あなたの存在が何よりも大切なのですから。

保護者の皆様、この素晴らしいお子様たちをよくぞ北高に連れてきて下さいました。20世紀初頭、日本を守った、あの秋山好古の「生徒たちは兵士ではない！」という熱い想いが受け継がれている、全国でも類を見ないスケール感のある、この伝統校を卒業されるお子様たちは、本日我々の手から離れます。とても寂しいけれど、心からお祝い申し上げます。

今年の卒業式は、三年振りにこの北高体育館に戻ってこられました。長寿命化工事が終了し、さあこれからという時にモルタル片が天井から落下し、皆様に大変なご心配とご迷惑をおかけしました。特に、バドミントン部、バレーボール部、バスケットボール部、ダンス部の関係の皆様には、大変なご不便とご苦勞をおかけしました。改めてお詫びと御礼を申し上げます。

高校卒業で、人として完成ではありませんし、皆さんの成長はこれからですよ。しかし、現時点で決して他に負けていません。どうか、「あの松山北高校で学んだ誰々ですよ！」と自信を持って前へ進んでください。皆さんがそれぞれの場で社会貢献する姿を確信しています。愛媛県立松山北高等学校ご卒業、誠におめでとうございます。

令和八年三月一日

愛媛県立松山北高等学校長

井上 浩